

実施記録AI

施設記録mana

話す・ワンタップで、その日の記録が完成。

バイタル・食事・排泄・申し送りを、音声やワンタップでかんたん記録。AIがダッシュボードに自動集約します。記録時間を最大85%削減し、職員がケアに向き合う時間を増やします。

主な機能

1 音声・ワンタップで実施記録

バイタル・食事・排泄などをその場でかんたん入力。

2 ダッシュボードに自動集約

バイタル一覧・排泄・申し送り・服薬を一画面で把握。

3 CSV出力でExcel連携

集計をそのままExcelや既存ソフトへ。

4 カイポケ等へ連携

記録を介護ソフトへ連携。二重入力を削減。

出力例（記録 → ダッシュボード）

「Aさん、体温36.5度、排尿2回・排便1回、昼食は全量。午後に軽い咳、水分を促し落ち着く。」

↓ AIが整える

ダッシュボードに自動集約：バイタル一覧／排泄（回数・時間）／食事・水分／申し送り一覧（区分・利用者・内容）。

導入事例

「最初の一步は『排泄記録』でした。現場発のスローDXで、好循環が生まれています。」

有限会社陽気（陽気グループ）代表 嶺井 美幸 氏
沖縄・南城市 | ホームいこい / デイサービスはいさい / 訪問看護・訪問介護ようき

こんな課題はありませんか？

- ✓ 記録に時間がかかり、残業や持ち帰りが発生
- ✓ 利用者の状態をすぐに把握できない
- ✓ 申し送りの抜け漏れが起きる
- ✓ 紙の記録の管理・転記が大変

→ 施設記録manaが、これらをまとめて解決します。

料金

月額 **30,000円** 税抜 / 1枠で介護スタッフ50名まで

利用人数 1枠で介護スタッフ**50名**まで。超える場合は枠を追加 (+1枠で+50名)。

追加枠 2つ目以降の機能と同じ月額**20,000円 (1万円割引)**。

無料プラン **利用者3名まで・期限なく無料** (カード登録不要)。

組み合わせ割引 他の機能と合わせると割引 (**2つで月額50,000円=1万円割引**)。

導入効果シミュレーション (試算)

前提：要介護3の区分支給限度基準額 27,048単位=約270,000円/月 (1単位10円・令和6年度介護報酬)。施設・事業所で定員に空きがある前提。

① 業務効率化 — 時間を生み出す

記録・申し送りの作成を**最大85%削減**。職員がケア・利用者対応に充てる時間が増え、サービスの質が高まります。

② 売上向上 — 質の向上が利用者増につながる

+1名
利用者増/月

×

約27万円
要介護3・1名/月の介護報酬

増収余地 **月 約27万円** (年 約324万円)

月額コスト **30,000円** → 増収余地 **月 約27万円** (約9倍)

定員に空きがある限り、ケアの質向上が利用者増=増収に直結。1名あたりの介護報酬は介護度・サービス形態により変動します。

※あくまで試算です。介護度・サービス形態・定員の空き状況により変動します。実際の数値での再計算も承ります。

株式会社ライフシフト

サービスページ：lifeshift-inc.com/service/easy_log

お問い合わせ：lifeshift-inc.com/contact / カイポケ連携対応



スマホで読み取り
詳しくはこちら